

直前演習で弱点の徹底補強を！

振り返り & ピックアップ

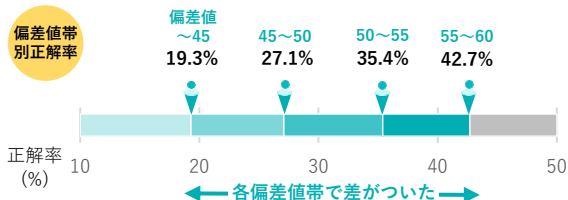
大学入学共通テスト模試3年6月で扱われた 共通テストで問われる力・差がつく問題

大学入学共通テスト模試3年6月は、おもに学習項目に関する理解や基礎力の定着をみる一方で、共通テストを想定した、知識の活用や思考力を求める出題もしています。正解率の低かった問題や差がついた問題の、理解・思考のポイントを確認し、「直前演習」での問題演習を通して、共通テストに向けた解答力を養っていきましょう。

地学基礎 | 第1問 A 問2：正解率33.1%

問2 前ページの会話文中の下線部①に関連して、地球が完全な球形ではなく赤道方向に膨らんだ回転楕円体である証拠として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 高緯度の地域ほど緯度差1度に対する経線の長さが長い。
- ② 高緯度の地域ほど緯度差1度に対する経線の長さが短い。
- ③ 低緯度の地域ほど経度差1度に対する緯線の長さが長い。
- ④ 低緯度の地域ほど経度差1度に対する緯線の長さが短い。



■ 事物に関する理解を問う問題

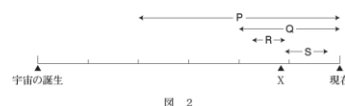
地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体である証拠を判断する問題でした。頻出の内容であるので、教科書の図を確認したり、自分で図示したりして理解を深めておきましょう。

直前演習で復習できます

- 第1回第2問問2：緯度差1°に対する子午線弧の長さを問う問題

地学基礎 | 第3問 B 問2：正解率37.8%

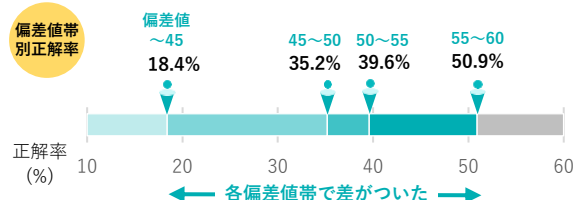
B 次の図2は、宇宙の誕生から現在までの時間の経過を表したものであり、1目盛りは宇宙の年齢を6等分した長さである。図2について、後の問い(問2・問3)に答えよ。



問2 次のa・bの期間は、図2中のP～Sのいずれに相当するか。その記号の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 12

- a 地球の歴史
- b 原生代

	aの期間	bの期間
①	P	R
②	P	S
③	Q	R
④	Q	S



■ 図を用いて基本的な理解を問う問題

宇宙の誕生から現在までの時間の経過を表した図をもとに、地球の誕生の時期や地質時代の年代についての知識を問う問題でした。数字を覚えるだけでなく、時間の流れの中で説明できるようにしておきましょう。

直前演習で復習できます

- 第7回第3問問2：宇宙の歴史を帯で示した図を用いた問題
- 第8回第1問問6：地球の歴史の年表を用いた問題



2027共通テスト対策【実力完成】直前演習 地学基礎

販売価格 1,050円(税込)
販売形態 問題冊子×解答冊子
問題バラ×解答バラ
冊子判型 B5判(問題・解答解説)

ダウンロード

- 問題・解答解説 (PDF)
- 手書き解答例 (PDF)
- 活用ガイド (PDF)
- 地学 力試し問題・解答解説 (PDF)
- マーク集計Plus

自動集計ツール対応

- Google Forms



※GoogleおよびGoogle FormsはGoogle LLCの商標または登録商標です。

<ご注文、見本請求に関するお問い合わせは下記の窓口までお願いいたします。>

ベネッセコーポレーションの『学参・手帳サイト』

<https://gt.benesse.co.jp/>

※お問い合わせにつきましては、ヘッダーメニューの「よくある質問」より、FAQの下にある「ご質問・ご相談」をご確認ください。

株式会社ベネッセコーポレーション

〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17

※掲載の教材内容は予告なく変更する場合がございます。

あらかじめご了承ください。